

自己実現 2021

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【第2回実力考査教科・科目別講評】

第2回実力考査の講評がまとまりました。熟読し今後の学習に役立ててください。

〈国語〉 平均点 71.1/200

現代文 45.1/100 評論 30.5/60 (50.8%) 小説 14.7/40 (36.8%)
 古典 26.0/100 古文 14.2/60 (22.7%) 漢文 11.8/40 (29.5%)

前回までとは異なり、初見の文章ばかりで構成された長文4題の実力問題であったので、今回は難度が上がり得点としては低い。現代文分野では、評論問題の得点率は5割に達していたが、小説の問題はあまりできていない。小説としての全体把握が粗雑すぎて、傍線部の前後を読み取って関連づける思考ができていない者はかなり大勢おり、得点率を下げている。また、古典分野においては、各人の実力差に開きが感じられ、着実に実力を向上させている者が徐々に増えてきてはいるようである。しかし、大半の者は、古文、漢文ともにまだまだ基本事項の定着が不足しており、内容読解は拙く、設問に応じた記述解答の要素を満たすことができず、得点は低かった。

また、現代文分野の問題に時間をかけすぎて、古典分野の問題を解く時間が足りなかった様子が多く見受けられた。受験テクニックとして時間配分は必須の重要事項であり、それを考慮して長文読解力を身につけていかなければならない。

文法事項の徹底や語彙の強化など、基本事項の早期定着化を図り、制限時間内での長文読解力を鍛えていくことが課題である。別途配布した解説プリントを読み、設問に対する着眼点や、解答を記述する際の留意点などについて、今後の学習に活かしてほしい。

〈数学〉 今回から、大問中心の出題となりましたが、それぞれが小問に分かれています。問題全体の流れを意識しながら作問しています。一つ一つの問題に対して、繋がりやヒントが隠れていないかを意識しながら、いかに取り組めたのかどうかが大切です。合計点数だけに注目せず、自分の答案をもう一度見直してください。落ち着いて取り組めていたら、正解できていた問題もあるはず。公式を正しく覚えていれば解けた問題もあるはず。細かな講評については既に配布した詳解を確認してください。入試で頻出な項目も多く出題されています。ただ試験を受けただけにならないように、しっかりと復習をしましょう。全体を通して気になったのは、計算ミスです。全体の得点に大きく影響します。また、基本的な式の扱いや変形でのミスも見られます。限られた時間の中で、早く正確に解答していく力をつけていきましょう。あと、記述については必要な文章と式を過不足なく、記述できるようにしましょう。3年生になり演習授業も少しずつ増えてきました。新しい内容を学習していくのではなく、問題にどう対処していくのかその解法を考える必要があります。授業を通じて様々な解法を身につけていきましょう。予習も復習もせずに授業を受けていても実力はつきません。しっかりと自分で考えて、最後まで問題を解き切っていく過程の中で、計算力、思考力、答案作成能力（正しい記述をする力）がついていきます。練習あるのみです。数学では1つの分野を極めることで他の分野も攻略しやすくなることが多い。頻出分野（確率・整数・微積分・ベクトル・数列）のうち強化したい分野をいくつか選び徹底的に強化するのもあります。理系は休校の影響で数Ⅲの演習量が少なく、数Ⅲの計算は奥が深いので基礎的な内容の演習を多くこなすことを心掛けましょう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

〈英語〉 今回からは、長文は全てオリジナル問題となっている。時間配分を失敗した人は、長文各20分、文法問題20分、英作文20分など、まず解き始める前に、全体を見通して、時間配分をしてから問題を解き始めることをお勧めする。「分かる問題は確実に解く」ことを心がけよう。ある程度考えて分からなければ、時間の問題ではなく、学力の問題だと思われるので、次の問題に進んでいくという見極めも大切である。

単語が分からなかった、という人は、持っている単語の本を何度も繰り返し覚えよう。また、実力考査、模試、授業などで出てきた新出単語を全て覚えるなど努力していけば、語彙力が伸びることは間違いない。

文法問題は、ある程度正答率も高い。しかし、記号問題は正解しても、英語を書く問題では途端に正答率が下がる。見て分かるのと、再現できるのとは理解度が違う。どのような問題でも再現できるように、表現を自分のものにしよう。

英作文は、正答率はやや低めである。「主語は何か、動詞は何か、何文型を使うか。」と全体の構造を考えてから書き始めよう。平易な表現で、間違いのない自然な英語を書けば得点率は高い。難しい表現を使おうとしても、単純ミスで減点されたり、不自然な表現で採点してもらえなかったりするかもしれない。書き慣れていくうちに、自然な英文が書けるようになるものである。

夏休みが短縮されて、思ったほど自分の時間が取れないかもしれないが、得点が低かった人は、もう一度基礎基本の見直しを行って欲しい。得点が高かった人は、どんどん多くの英語に触れて、難しい問題にチャレンジしていこう。

〈物理〉 物理講評【理系、総理】

①(力学)は標準的な問題である。小球と動く台との衝突における運動について、運動量保存法則と力学的エネルギーの保存の関係から考えられるかを問うた。②(熱)は p - V 図を使った気体の状態変化について、熱力学第一法則から考えられるかを問うた。③(波動)は反射板がある場合のドップラー効果について、振動数やうなり等を求めることができるかを問うた。①と③は得点率が2割台と低い、特に①は頻出の力学の問題であるので、類似問題を解いて要点を押さえる必要がある。また、③のドップラー効果については公式を単に覚えるだけでなく、式を理解して解けるようにしたい。今後も各分野の問題演習にしっかり取り組んで、着実に解けるようにしたい。

	得点率 %			平均点
	①	②	③	
全体	27.6	41.4	29.3	32.2
普通科	23.4	35.1	23.4	26.9
総合理学科	43.9	65.6	52.5	52.7

物理基礎(総合物理)講評【文系】

①、②、⑤は運動と力学でやや難しい問題、③のエネルギー、④の波動はそれぞれ基本の問題であった。復習が不十分で、基本の③、④を正答できなかった人は、心しよう。とは言え、文系にとっての物理基礎はここからである。今一度、教科書をしっかり読み込み、演習を積み重ねば、秋以降の成果が期待できる。内容は決して多くない。多くの時間をかける必要はない。項目をよく整理して、計画的に取り組んでほしい。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
『自己実現2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

<化学> 化学講評【理系、総理】

理論分野と無機物質（休校期間中に自主学習の範囲）の範囲で出題をおこなった。主要な国立大学の二次試験の約半分をこの範囲が締め、休校期間中の復習を期待したが、全体的に得点は低かった。（平均 36 点）無機物質の範囲は、休校期間中に授業プリントの配布と動画配信を行い、分散登校明けに小テストもおこなっている最中であつたが、課題の提出を科さなかつたためか勉強不足が顕著に表れ、正答率は低かった。誘導形式にした理論分野の間については取り組む努力は見られたが、応用力不足の者が多かつた。短い夏季休暇であるが、まずは無機物質の学習をおこなわなかつた者については、必ず問題集を一通り解くべきである。理論や有機についても計画的に復習をしておく必要があるので、反省を生かし、期末考査後の学習計画をしっかりと立てよう。

化学基礎(総合化学)講評【文系】

大学入試共通テストに準じた出題としました。昨年までの大学入試センターテストで、神戸高校現役生の「化学基礎」の平均得点は 8 割でした。今回はどれくらい出来ましたか。8 割得点するためには、すべての問題が解けるような学習をしておく必要があります。次の模試までに、全問をもう一度学習し直し、各自で再試験をやり、理解度を確認しておき、自信を持って模試に臨みましょう。今回の考査で多くの人が得点できなかったのは、身の回りの物質、原子の構造、化学結合、物質量の計算、イオン化傾向でした。自分の弱点分野を「チェック&演習」を再度解き直すことで、しっかり学習しておきましょう。

<生物> 生物講評【理系、総理】

長い休講開けで、まだ受験生としての実感に欠ける人もいるかと思います。理系の理科は 2 次科目として重要な科目で、生物も腰を据えて学習に取り組みましょう。今回は、神戸大学はじめ地方国立大学の 2 次問題のレベルとしていますが、字数制限がある記述を初めて取り入れたので、記述問題では苦戦していたようです。最低限リードライトノートで覚えるべきものを覚えて「部品」をそろえ、問題集ニューグローバルで「組み立て練習」をし、入試重要問題集で問題を解く練習をします、さらに授業で配布し取り組む入試問題で実践力をつけます。各人それぞれ到達目標が違ふと思います。平均点よりどうのこのうのというより、各人、目標を設定し取り組みましょう。

生物基礎(総合生物)講評【文系】

大問 2 はつい最近の授業で復習した内容なので、低得点率の生徒は日頃の取り組みを見直す必要がある。また、問 3 の内容は 1 年生以来なのだが、実力試験に望む姿勢をきちんとするよう反省を促したい。全体平均点 1 6 . 6 点、最高得点 3 8 点、各大問得点率 大問 1 : 4 4 %、大問 2 : 2 7 %、大問 3 : 3 1 %。

<地理>

地形気候の基本的な問題ができていないのは残念です。学んだことをだんだん身につけてくるとできるようにしてください。人文系はまだ授業で習っている最中なので、少しずつ知識量を増やしていきましょう。約 50 カ国の気候風土、人口、豊かさがわかるようになれば、8 割以上はとれるようになります。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>
『自己実現 2021 など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。』

<世界史>

3年履修動画範囲を5割、2年生の履修範囲を5割で出題しました。マークシート70点、記述問題15点、論述問題15点で、2年と3年の範囲はほぼ同等です。3年範囲は5割を超えた正答率でしたが、2年の範囲が4割しか正答できず、平均点は45点でした。基礎的な問題の取りこぼしも目立つので、これから少しずつ学習時間を作って下さい。小テストは勉強に取り組むチャンスです。一つ一つのテストを大事にしてこれからも取り組んで下さい。

<日本史>

原始・古代を7割、近現代を3割で出題しました。センター問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。平均点45点で、休校期間中の動画授業も含めて、大問5題ともに4割～5割の正答率でした。難易度は基礎基本から難解な問題も出題しました。残念ながら、まだ社会のほうにまで勉強が進んでいないように思われ、基礎基本問題も間違っている生徒も多数いました。夏休み明け以降、頑張ってくれるものと思います。

■まとめ

『成績のいい人はテストの見直しをしている！』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

[大学入学共通テストへの準備について]

大学入学共通テストは、現役生は個人ではなく在籍高等学校経由で一括出願することになっています。出願方法や注意事項等の詳しい説明は、**9月3日(木)の学年集会**で行う予定です。また、出願書類(共通テストでは「**受験案内**」と呼んでいます。)は、最寄りの大学(神戸高校は神戸大学)より73回生全員分を取り寄せます。夏季休業中に申請や手続きが始まるものについて確認しておきます。

英語リスニング「イヤホン不適合措置申請」について(右下図ICプレーヤーのイヤホンの形状)

英語リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないために、試験当日ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を下記の方法で入手し、**最寄りの大学入学共通テスト参加大学の入試担当窓口**で確認の署名をしてもらった後、志願票の所定の欄に貼り付けて出願しなければなりません。イヤホンが自分の耳に合うかどうか不安を感じている人は、**進路指導部の先生のところまで来て下さい**。昨年の現物があります。

[申請書の入手方法]

- ①「大学入学共通テスト」のホームページからダウンロードする。
- ② 進路指導室または学年(職員室)に取りに来る。



<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。